　ブロック長　各位

災害対策室

室長　飛田　潤

名古屋大学地震防災訓練におけるブロック自衛消防隊の対応について（依頼）

　名古屋大学の防災体制の整備に関して日ごろからご協力をいただき、ありがとうございます。11月8日に予定されている今年度の名古屋大学地震防災訓練では、ブロック自衛消防隊に大きな役割が期待されますので、下記の事項について取り組んでいただくようお願いいたします。

記

１．自衛消防隊の組織の事前確認

　　ブロック内の建物自衛消防隊とブロック本部隊の組織について、最新の名簿をもとに点検し、かつ本人が役割を承知しているかを確認してください。

２．自衛消防隊員への周知

ブロック自衛消防隊の本部隊と建物自衛消防隊について、訓練当日の配置や活動内容を確認し、自衛消防隊員に周知してください。

３．ブロック自衛消防隊本部の設置、防災備品等の展示、防災機材テスト

　　ブロック自衛消防隊の活動本部を設置し、防災関連の機材の使用テストを行う。特に発電機、照明、ＴＶはセットで各ブロックに配備済み。実際に組み立てて動作確認を行ってください。

４．トランシーバーを活用した災害対策本部および建物自衛消防隊との通信網の構築

　　ブロック内の相互通信および災害対策本部との間は、主にトランシーバーにより通信を行います。使用法に不慣れな場合は情報伝達のミスや混乱につながりますので、一昨日ご送付した実際の火災に対する訓練が機能するよう準備を進めてください。

５．ブロックとしての独自訓練

　　構成員の防災意識が高まるような独自訓練を、ブロックまたは部局で企画し、実施してください。実施は11月8日（全学防災訓練実施日）の午後を第一としますが、状況に応じて防災訓練の週（11月5日～9日の）で実施してください。

６．ブロック連絡調整会議の開催

　　ブロック全体に方針を行き渡らせることと、ブロック内の意見を吸い上げるために、ブロック連絡調整会議を１回以上開催してください。

７．報告書の作成

　　自衛消防隊の参集訓練、ブロック本部センターの設営状況、ブロック独自訓練の実施状況などの写真を添付するとともに参加人数等をまとめた防災訓練の報告書を作り報告してください。（報告書の様式は任意とし、写真の電子データを添付する。）

以上